

陸上競技の現場に生きる スポーツ科学とは —研究と実践の対話から見えるもの—

スポーツ科学の研究成果を、いかに現場で生かすことができるのか。

本企画では、陸上競技に携わる研究者・コーチ、そして現役アスリートなど、多様な立場の講師をお招きし、大学院生・若手研究者とともに「現場に生きる研究」について語り合います。本企画を通じて、アスリート支援のための基礎的・応用的研究に取り組む若手人材が、自身の研究の目的・目標をより明確にし、ハイパフォーマンス・コア・サイエンティストとして成長することを目指します。さらに、研究者との対話を通じて、キャリアパスの“見える化”と“具体化”を図り、今後の研究活動やキャリア形成に活かす機会とします。

PROGRAM

14:00 開会挨拶

14:05 第1部 「パフォーマンス向上とハイパフォーマンス向上はどう違うのか
～科学的知見をどう活かすか、活かさないかの観点から～」

山崎一彦先生 | 順天堂大学スポーツ健康科学部 教授

14:35 質疑応答

14:45 第2部 トークセッション(ラウンドテーブル)

山崎一彦先生

杉林孝法先生 | 順天堂大学スポーツ健康科学部
准教授

後藤晴彦先生 | HPSC/JISS 研究員

山本亜美氏 | 富士通陸上競技部 400mH選手

オブザーバー
としての参加
となります

16:20 閉会挨拶

16:30 閉会

2026.1.21.WED
14:00-16:30

<https://x.gd//spo260121>
参加無料 / 申込はこちらから

申込期限
2026.1.14 (水)



立命館大学びわこ・くさつキャンパス
エポック立命21 エポックホール



山崎一彦先生
順天堂大学
スポーツ健康科学部 教授



杉林孝法先生
順天堂大学
スポーツ健康科学部 准教授



後藤晴彦先生
HPSC/JISS 研究員



山本亜美氏
富士通陸上競技部
400mH選手

